

ワンポイント解説



1 「ひかりを おでこに／くつつけて」の「ひ

かり」は、春の暖かい日ざしのことです。

(3) 詩の題名「あしたこそ」と、「あした／たくさん

の「こんにちば」に／であうために」の部分に注目。

未来に多くの出会いを期待する気持ちがわかります。

2 (1) 「もえる ひ」とは、夏の太陽のぎらぎらと照

りつける日ざしを表しています。

(3) 「おれは げんきだぜ」「おれは がんばるぜ」といった言葉や、「……ぜ」という口調から、夏の

暑さの中で元気に張り切っている様子がわかります。



言葉に出会うために

野原はうたう

工藤 直子

教科書 P14～17

野原の生き物たちの気持ちを考
えて読んでみよう。



情景や生き物たちの気持ちをとらえて読もう。

14 ページ「あしたこそ」の詩について、

(1) 「ひかりを おでこに……まゐがります」から、どんな様

子がわかりますか。次から一つ選びなさい。14 (イ)

ア 暖かい春になり、たんぼが少しずつさき始める様子。

イ 明るい日ざしの中、たんぼのわたげが飛びたつ様子。

ウ 強風で、たんぼのわたげが一気に散ってしまう様子。

エ 春のそよ風がふき、たんぼのはなびらがゆれる様子。

オ わたげがまいあがるとき「たんぼは はるかさんはど

んな思いでしたか。次の空欄に入る言葉を、詩の中から書

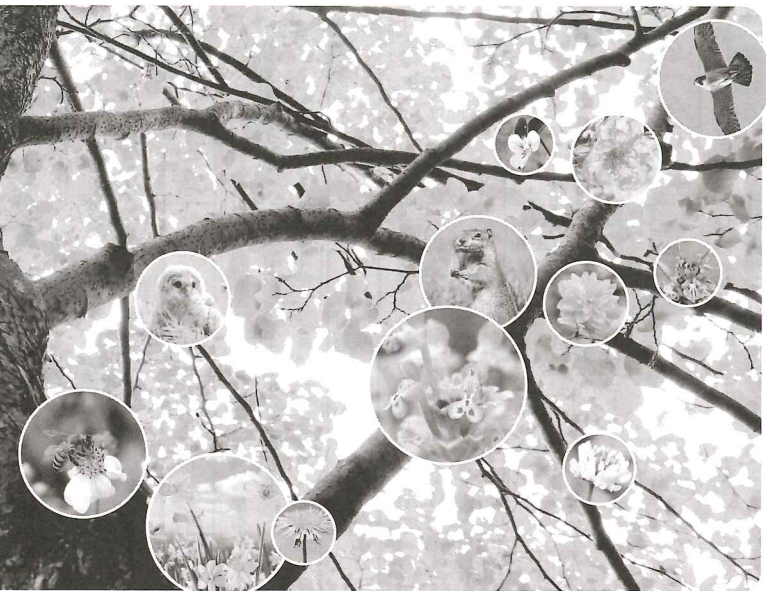
きなさい。

14 (3) は な ひ ら く ひを ゆ め にみる思い。

(3) 「とんでいこう……であうために」からわかる「たんぼは

るか」さんの気持ちを、次から一つ選びなさい。14 (エ)

はるかさんの気持ちを、次から一つ選びなさい。14 (エ)



3 16ページ「あきのひ」の詩について、

- (1) この詩は、秋の一日のうちの、いつごろをえがいていますか。漢字二文字で書きなさい。

書きぬくのではなく、考えて書きなさい。

例 夕 方

- (2) この詩の1、4行目には、どんな様子がえがかれていましたか。次の空欄に入る言葉を、詩の中から書きぬきなさい。

16
① かぜ16
② はなびら

がゆれた様子。

- (3) 「ふりかえると」とありますが、

- ① 「のぎく みちこ」さんは、なぜふりかえたのですか。それがわかる詩の一行を、書きぬきなさい。

16
② だれかに よばれたがして

- ③ 「ふりかえた」のぎく みちこさんは、何がどうする様子を見ましたか。次の空欄に入る言葉を、詩の中から書きぬきなさい。

16
④ ゆうひ

が (くるくると) しずむ 様子。

- (4) 「ゆうひが くるくるとしずむところでした」から、どんな感じを受けますか。次から一つ選びなさい。(ア) ア みるみるしずむ感じ。 イ ゆっくりしずむ感じ。 ウ 静かにしずむ感じ。 エ 重々しくしずむ感じ。

4 17ページ「いのち」の詩について、

- (1) 「けやき だいさく」さんにとって、ことりたちがとても大切であることを、どんな言葉で表していますか。詩の中から四字で書きぬきなさい。

しんぞう

「しんぞう」は、生き物になくてはならない大切なもの。「いのち」(題名)そのものといえる。

しんぞう

- (2) ことりたちをふところにだき、「けやき だいさく」さんはどう感じていますか。詩の中から一行で書きぬきなさい。

17
⑤ とても

あたたかいのである

- (3) 「いきていくのである」「いきていて よいのである」とは、どういうことですか。次の空欄に入る言葉を、あとから一つずつ選びなさい。

ことりたちは自分の(エ)であり、自分はことりたちの(オ)だから、いつまでも生きていくということ。

- ア 先生 イ 外敵 ウ 栄養 エ いのち オ すみか

- (4) この詩から、「けやき だいさく」さんのどんな思いが感じられますか。次から一つ選びなさい。(エ) ア ことりたちと離れて、強く生きようと決意している。

- イ ことりたちと遊んで、楽しく過ごしたいと願っている。

- ウ 自分を犠牲にして、ことりたちを守ろうとしている。

- エ ことりたちと生きることにはこりと喜びを感じている。

ワンポイント解説

3

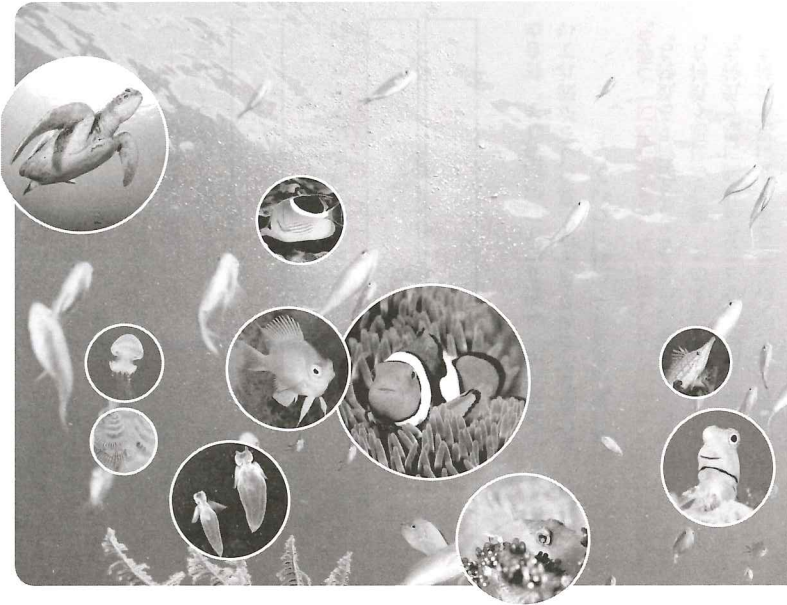
(2) 詩の作者名に「のぎく みちこ」とあるので、「わたしは はなびらをゆすりました」は、のぎくのはなびらがゆれた様子を表しています。

(4) 「くるくると」から受ける印象をとらえます。速くしずんでいく印象を受けます。

4

(3) けやきはことりたちのすみかとなりつつ、ことりたちにいかされているのです。

(4) 「だから ……」のである「のくり返しに注目」けやきは、ことりたちを守り、ことりたちに支えられているから、生きていてよいと感じています。



うみの こもりうた

うみひろみ

ちきゅうが くるりと まわって
よるになったら
うみも ゆらりと ゆれて よるになり
たくさんの いのちを だいて
こもりうたを うたう
たくさんの いのち うれしく
ゆめをみる

ちきゅうが くるりと まわって
あさになったら
うみも ゆらりと ゆれて あさになり
たくさんの いのちを だいて
めざめのうたを うたう
たくさんの いのち うれしく
わらいだす

